

広報 いまり

発行 昭和57年5月1日 伊万里市役所総務部秘書課 (☎32111 ㊦848) №.339



限りなくひろがる海原は
太陽のひかりをあびて
キラキラと輝く
少年たちはあこがれと夢をいただき
その澄んだ瞳でいつまでも
海をみつめる……

(4月11日巡視艇「しまゆき」の上で海洋少年団の開校式)

'57

5月

〈人口〉男29,138人 女32,253人 計61,391人 (前月比-277人) 〈世帯〉16,949世帯 (4月1日現在)

《21世紀への展望切り開く》

産業基盤に開花結実をはかる



▲市長 竹内通教

市長就任ごあいさつ

市民の皆さん、皆さんの温かい御支援によりまして去る四月二十七日より四期目の市長に就任いたしました。

市長室の入口に掲げてある森永温堂老師の「初心不忘」を座右の銘として常に若々しく日々新たに、そしてこれまでよりも一層困難が予想される社会経済状況の時代だけに勇断をもつてその任に当ることを誓います。

無競争のため選挙公報も出されなかつたので、ここにすべてを網らできませんが、許される字数で、これからの市

政についての所信をまとめて述べることにいたしました。

市政方針

これまでの伊万里湾・市街地・農村における大型投資による産業基盤整備の上の開花結実を計り、二十一世紀への長期プロジェクトの推進と地方の時代にふさわしい特色づくりにより伊万里の名声の浮揚と市政の発展に努めます。

一、臨海産業の誘致を実現し内陸部に先端技術産業を導入し、地場産業の新分野開発と振興を計って、人口、所得の増加を推進します。

一、駅南のスポーツ地区と川北

の文化・福祉地区を商店街で結び中核都市にふさわしく市街地を整備拡充します。

一、国営総合農地開発事業と農産物加工場の建設で農業後継者に安定した魅力ある豊かな農村をつくります。

一、休暇センターによる滞在型観光と食べる観光地づくりを組合わせ各種大会を誘致して訪問人口をふやします。

一、学校の統合・施設の整備、文化福祉施設の充実に努め地域ぐるみの青少年育成で社会総健康運動を進めます。

一、体力づくりを推進し、住民総合検診を徹底して疾病の予防と早期治療をすすめる長寿の町実現を計ります。

一、上下水道の普及、交通体系の改善、道路の改良舗装を促進するなど住みよい町づくりをいたします。

一、国・県制度の活用と市勢の浮揚で財源を確保し、他面行財政の合理化節減を行い健全財政に努めます。

一、国・県制度の活用と市勢の浮揚で財源を確保し、他面行財政の合理化節減を行い健全財政に努めます。

ロシリングという国の予算の中でも将来一千億円にも及ぶ国営総合農地開発事業が認められたことでもそれが実証される。そしていろいろのことはあったが過去三期十二年そういう全体の融和と力の結集に努められてきた。それを崩しては市政の発展はありえないという市民皆さんの御気持の表れと受けとめています。

私は今日の弱小な市町村における行政上のオールマイティは力の結集であることを確信いたします。

これある限り困難な企業誘致も可能になり、松浦線の廃止問題さえも市民のオールマイティを崩すだけの力はないと思います。

そしてピンチのあとには必ずチャンスがあるものでピンチに逃げることなく力を結集して当たれば、そのあとには必ずチャンスが訪れる天地の道理を私は信じています。

これからの任期はこれまでよりも困難が予想されますが、そういう時こそやり甲斐もあり、また伸びる時でファイトを一層燃やしてやりとげる覚悟であります。

(竹)

竹内市長が無投票で再選

市議補選は大川内氏, 前田氏

任期満了に伴う伊万里市長選挙と、久浦行夫氏及び中倉太郎次氏、両市議会議員の死亡による市議会議員補欠選挙は4月1日告示されました。

市長選挙は、竹内市長のほかには立候補の届がなく、また市議会議員補欠選挙は欠員2名に対

し、大川内一夫氏と前田正道氏の他に立候補の届がなく、両選挙とも無投票でそれぞれ当選されました。4月13日市選挙管理委員会から当選証書が手渡されました。



▲大川内一夫氏(61歳)

大川内造園
(長崎県小値賀中学校教諭、市農業委員、会社員)
北京経済専門学校卒業



▲前田正道氏(58歳)

米穀販売業
県相撲連盟常任委員
(県食品衛生指導員、大川町区長会会長)
私立渡辺工業学校中退

地域づくりの拠点に

牧島公民館・北部老人憩の家落成

牧島地区公民館が国道204号沿いの環境の良い高台に総事業費8,240万円をかけて完成し、4月18日に落成式がありました。

牧島公民館では、さっそく老

人クラブの人達により、さんご樹やもくせいなどの庭木が植えられています。

これからは牧島町のコミュニティ

センターとして大いに活用されることでしょう。

波多津町や北部地域の皆さん待望の北部老人憩の家「高尾山荘」が波多津公民館前に完成しました。

新しい憩の家には、150人収容の大広間、リハビリ室、浴場



▲町民待望の牧島公民館の落成式

教養室などを備えた平屋建の建物で総工事費は9,100万円かかりました。新しい憩の家は、波多津の桜の名所をとって、高尾山荘と名付けられました。

老人憩の家では、お年寄りたちの楽しい話しの花が咲くことでしょう。

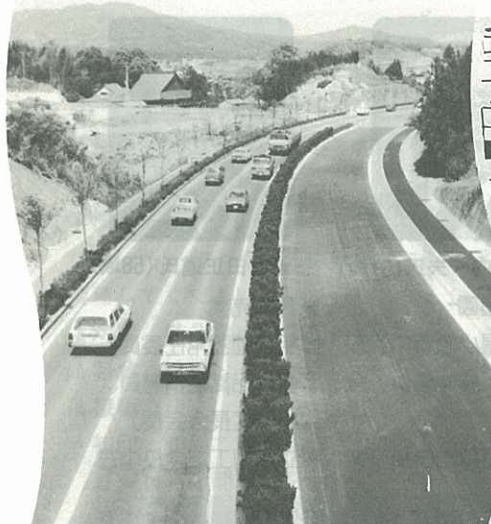


▲3月30日の高尾山荘の落成式

市長選挙が去る四月一日に告示され、二日の午後五時で無競争のため当選が確定し、十三日に当選証書の授与があり、四月二十七日より新しい任期が始まりました。私は四期目が無競争になつた理由をこう考えます。その一つは、行政にはあくまで一定の限界があり、さらに弱小の地方公共団体では財政的にも思うに任せず従って住民の皆さんが行政への要求をすべて満足するということには至らず、それぞれに不満もありながら、ともかくも誠意をもって一生懸命やっています。それはやはり皆で支えてやるべきではないかとの温い御理解の賜だと思えます。そして二つには、いまの時代に争って互に力をそいでいては何もできない。逆に力を結集しさえすればいかに困難な時代でもできないことはない。昨年の暮せ

S 57. 5





—どこへ

毎日にげなく歩いている道路、走っている道路、私たちの生活は道路によって結ばれ、支えられています。でも道路のことを私たちはどれ程知っているでしょうか。本市の道路の現状と将来の道路体系についてあらためて考えてみましょう。

すべての道は伊万里へ通ず

昨年、伊万里市の将来への指針となる総合計画がつくられましたが、この中に機能的な総合交通システムが述べられていますので要約してみましょう。

本市は地理的に大都市圏から遠く、これが産業経済活動を阻害しています。これを克服するには、まず交通網の整備が進められなければなりません。

このため九州横断道が出来れば、武雄への連絡道、さらに将来、西九州自動車道計画など、

短時間で福岡、長崎と直結し、また市内は、伊万里湾兩岸の臨海産業道路、内陸部は農山村基幹道路の整備を進め、市街地は都市環状線が計画されています。

(地域総合交通システム図参照)すでに環状線の一つ西部バイパス(二里～黒川)は、伊万里大橋や国鉄松浦線をまたぐ立体交差の橋脚工事が始まっています。これが将来の道路体系の単純なアウトラインですが、過疎や遠隔地の不利を克服し、新しい伊万里湾経済圏の中心として大きく飛躍するため『すべての道は伊万里へ通ず』をめざしたものです。

—これからの道路—

人・道・車の調和を

道は人と共にのびてきました。道は、物資の移動だけでなく人と人を結び、文化を伝えて、豊かな生活を支えてきました。

今、話題のシルクロードを考えれば、それがわかりと思

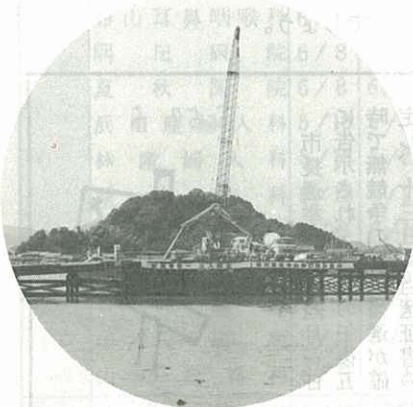
あすの道

ます。

21世紀の道は、人と道と車の調和をめざしています。

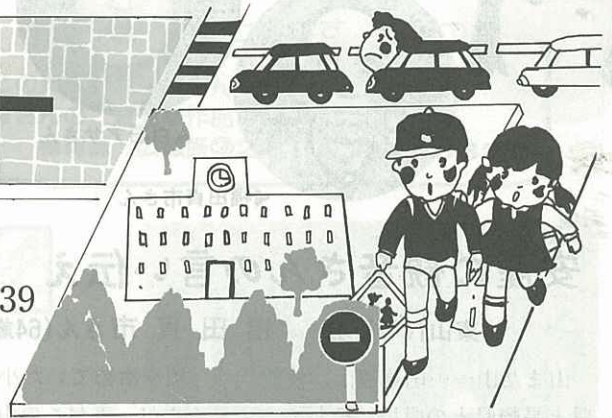
人の通る道は、緑の並木で囲まれ、カラー歩道など、楽しく買い物や散歩のできる道、つまり安全・快適・便利・文化性を高める道をめざしています。

広域総合交通システム概念図



▲都市環状線伊万里大橋の工事

のびる道



いまの道

キャンペーン
シリーズ №.39

市道の現状は…

私たちの周りには、高速道から農林道まで、いろんな道路がありますが、日常生活に身近な市道の現状を考えてみましょう。

市は道路関係に約11億円の予



▲まきの並木が美しい駅通り商店街

算を使っていますが、それでも現在の舗装率は38%と県下でもたち遅れているのが実情です。

そこで現在、当面50%の舗装率をめざして、毎年30kmを舗装しています。しかし舗装だけでなく維持管理つまり補修も必要です。そこで市では、道路台帳の整理を急いでいます。これは人であれば戸籍にあたり、道路の適正な管理を行ううえで大切なものです。

では市道への市民の要望は、どうでしょうか。

最も要望が多いのは、やはり

舗装や改良で、次にガードレールなどの安全施設整備となっており、年間に140路線、排水問題で側溝や暗渠、草刈や路面補修、砂利撤布などの軽微な維持補修は、年間に1,500件にもなります。これらの実態を調べ、対応を急いでいますが、早急に解決できないのが現状です。

道路問題で最も多いトラブルは境界問題ですが、道路や河川など公共物はみんなの財産です。

私たちの財産を私たちの手で守りましょう。

道のルールを守ろう

建設課管理係長 力武一巳



一口に道路の管理といっても財産の管理から、あらゆる機能上の管理まで多種多様です。

直接道路管理に携わる私たちは、良好な道路環境を保つため最善の努力をしています。当市は面積でも道路延長でも県内の10分の1以上の広さ、長さがあり、管理が十分いき届かない点もあるのが実態です。

道路は市民共有の財産ですか

ら、みんなで守り、育て、利用者が社会秩序を重んじて正しく使用することが最も大切です。

共有財産である道路は、法によって私権が制限され、通行以外の目的で使用したり、勝手に法面を埋め立てたりすることはできません。このような場合は所定の手続きが必要ですから、道路管理者（市道は建設課）へお申し出ください。





▲白石アサさん

◀福田貞市さん



ほほえみ

安産の観音さんの言い伝え

東山代町下分 福田貞市さん(64歳)

山また山……国見連山、佐賀県と長崎県との県境、そして志佐川の最上流に位置し、国有林の中にひっそりと観音堂があります。

こんな山奥にどうして建てられたのでしょうか。御堂は2間(3.6m)四方で、中に観音像と大日如来が祭られています。

御堂から石段を4.5段降ると谷川があり、この川は志佐川の源の龍王川で水神様が祭られています。

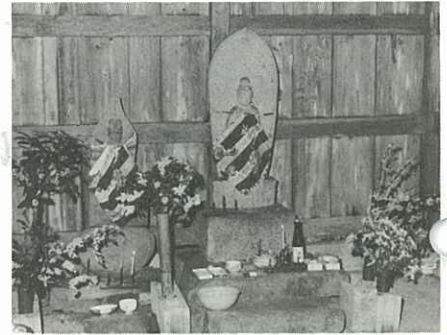
観音像には、元禄11年、長谷河伊右衛門が建てたと刻まれています。同時に悲しい言い伝えが残されています。

長谷河伊右衛門は、当時この

地を治めていた小城藩の武士ですが、妻がこの山中で難産のため亡くなりました。臨終のまぎわに、このような苦しみは自分ひとりでたくさん、もし死んだらこれからお産で苦しむ人がないようにお守りしますと言い残しました。伊右衛門は、この地で返らぬ人となった妻子の霊を祭るため、観音像を建てたのです。当時、この地は深山で猪、狐狸など鳥獣が谷から谷を横行していたと伝えられています。

現在は林道が近くを通り、伊万里、佐世保、世知原を結ぶ要路となっています。

観音さんには、地元はもとより、佐世保方面からも多くの方が安産祈願にお参りされていま



▲志佐川の源国見山中にある古田の観音さん

す。

この長谷河伊右衛門の7.8代子孫にあたる人が、山代町楠久にお住まいの白石アサさん(84歳)です。白石家では、歴代観音さんの管理をしてきましたが、アサさんがお年寄りで、お参りに行けなくなったので、下分区の方で掃除や献花など観音さんをお祭りしています。

そのお礼にと下分区に白石さんから10万円が寄付されました。



私の職場

税務課 丸田俊道(24歳)

季節も移りかわって、また新たな門出の時期を迎えました。

私も学生生活から社会へと環境を変えて、ちょうど1年が過ぎようとしています。

さて私の職場ですけれども市の税収入を預かる税務課市民税係です。職場から専門的な知識を要求されることが多く、私も

配属された当初は、電話1本の取りつきすら容易ではありませんでした。また市民の方が相談にこられても、知識が不十分で満足のいく説明ができず、途中で先輩に代わってもらったりしたものです。

税務課と聞いて嬉しい顔をされる人はいないと思います。実際、私もそうでしたから……。

新米さんいらっしゃい

しかし、外部からみただけでは、なかなか本当の姿はわかりません。市民の方が思われているイメージとの間には、かなりの相違があるように思います。

税金が社会に果たす役割を考え、その重要さを認識した上で、この相違を少しずつでも埋めていって、市民の方がどんなことでも気軽に相談にこられるような職場づくりに励み、十分な対応ができるよう頑張るつもりです。



ひろば

No.7



めに青葉 山ほととぎす 初がつお

この頁は市民の皆さんが作るページです。
皆さんのご意見や作品をおまちしています。
秘書課 広報係☎2111 内線408まで

いまり歴史散歩 その5

山ん寺の歴史 (中)

市郷土研究会 古賀稔康

山ん寺館の主、松浦党二代党源四郎大夫直は7人の子がありました。源二郎清(宗家松浦丹後家)、有田三郎栄(有田氏の祖)、大河野四郎遊(大河野氏の祖)、峯五郎披(平戸・田平・伊万里氏の祖)、山代六郎團(山代氏の祖)、小値賀十郎連(御厨氏の祖)、養子松浦太郎高後(相知氏の祖)。

源直は、寿永3年(1184)す

なわち壇の浦で平家が滅亡する前年、領地を7人の子に譲って逝去しました。

7人の子は父の命をうけて源平合戦の戦場に出陣しますが、出陣に際し、一族打ち揃って父母の許に詣でて出陣の盃を汲みかわし、祖廟に武運長久を祈ることは、当時の武士のしきたりでありました。800年前、祖廟の前には、鎧かぶと姿のりゝしい7人の若武者の姿がみられたことでしょう。

当時世人はこれら松浦の一族を「松浦党」と呼びました。山ん寺はまさに「松浦党発祥の地」といってもよいのではないのでしょうか。



▲二代党祖源四郎大夫直の墓

源直没後、夫人は廟を守って生涯を終えました。以来この廟寺は洞仙山総持寺とよばれ尼僧得度の寺となったと伝えられています。洞仙山とは中国の神仙伝説では「美しい仙女の住む山」をいいます。ロマンチックな山名ですね。

以降、山ん寺は本宗丹後家の所領でしたが、室町時代の明応7年(1498)、本宗丹後守政が相神浦(佐世保市内)大智庵城で平戸松浦興信との戦いに敗死してから、一時平戸松浦家の所領となりました。

平戸松浦氏が山祇神社に現在の熊野十二社権現を勧請したのは天文年間(1589)であります。

その後、享録4年(1531)政の子親は岳父少式政資の力で旧領を回復、山ん寺も丹後領となるが、永録10年(1567年)親は再び平戸隆信、山代直らの連合軍に攻められて降伏し、山ん寺は初めて山代氏の所領となり、山代氏は、その本城である山代領盛城を背後からおびやかされるおそれがなくなりました。

今日は ほほえみさん



黒川町真手野 小濱美智子さん

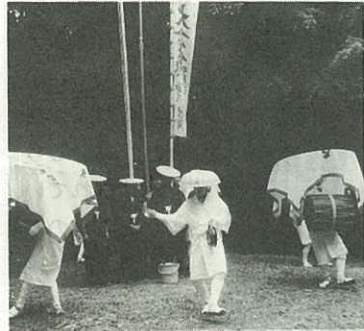
(S36年生)

今年の4月から柳井町の一粒園に勤めています。

まだホヤホヤの保母さんですが、子供は大好き。

(趣味) 読書、実習のときに養護施設の子供からもらった手紙を大切にしています。

(理想の男性) 家庭を大切にする人で、ひっこみ思案の私を引っっぱってくれる人なら……。



▲党祖祭で行われた大念仏

【お詫びと訂正】

先月号で宇部御厨は宇野御厨、第9回党祖祭りは第10回の誤りです。お詫びして訂正いたします。

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その40～

季節の花で飾る公民館

花を植える大坪町の老人グループ

野に山にそして町かどにかれんな花が咲き、私たちに慰めていますが、大坪西部老人クラブの中に「花を愛する人の会」という趣味のグループがあります。

この会は、新天町の馬場鉄蔵さん(76歳)を代表とする16名の皆さんで、7、8年前から自分達で花を育て公民館などの公共施設に植え、訪れる人を喜ばせています。

花を愛する人の会は、その名のとおり、春はパンジー、キンセンカ、夏はサルビア、秋は…と四季折々の花を畑を借りて育てて、大坪、新天町公民館、市民会館や老人センターの花壇に植えられているものです。

馬場さんも「できるだけ多くの人に喜んでもらえたらと始め

たが、自分達の生きがいであり、楽しみです」と話されました。新天町の公民館では今、チューリップが陽ざしを浴びて咲いています。



▲新天町公民館のチューリップの手入れをする皆さん

あの人この人

No.11

田中敬太郎さん(72歳) 波多津町浦

波多津の高尾山に30年近くもつつじを植えている人がいます。この人は、浦の電気店の田中敬太郎さん(72歳)です。

田中さんは、長男が中学3年になったとき、子供の成長のお礼に高尾山の金比羅さんに、毎朝5時からお参りし、草むしりを続けられていました。このころ、花の名所高尾山に桜が過ぎても何か花をと思い、ちょうど九電の仕事の関

係であちこちでつつじを分けてもらっていたので、それを植えることにし、参道の両側にこれまで100本ほど植えてこられました。ところが6年前、仕事帰りに単車でガードレールに激突、あわや片足切断という大事故に遭い、3年近く入院されました。でも今ではすっかり良くなり、近所の人も金比羅さんのおかげだと驚いています。

田中さんは、今年も50本を植え、また近所の畑には200本の苗を育てられており、まだまだ植え続けられるそうです。今、高尾山はつつじの真盛り、美しい花の陰に、こんなやさしい人の心があるのですね。



▲高尾山のつつじの手入れをする田中さん

いま伊万里で



▲と畜場閉鎖式(4/23)

大正時代から60年にわたって続いてきたと畜場がしめやかに閉鎖されました。



◀弓道場がオープン(4/1)
国見台の武道館横に新たに弓道場がオープンしました。



◀子供に人気の移動博物館(4/10)
歴史民俗資料館では、伊万里で初の移動博物館を5月20日まで開いています。



▶寮元市は今年も大盛況(4/1~5)
晴天に恵まれた寮元市には県内外からたくさんの人で賑わいました。



▶排水処理施設が完成(4/14)
一里の浄水場に二億四千万円投じ排水処理施設が完成しました。

各地で交通安全運動

▲アサリ貝をプレゼント(4/11)

波多津少年野球チームは自分達で掘ったアサリをドライバーへ贈り安全運転を呼びかけました。



▲ぬりえで学ぶ交通安全(4/5)

山代町では、新入学、入園児600人に交通安全のぬりえを書いてもらいました。

▼幸せの黄色いランドセルカー贈る

交通安全協会と市職員自家用自動車会は交通安全のランドセルカーを新1年生全員に贈りました。





国鉄では5月20日から6月8日まで「鉄道妨害防止運動」を実施します。

鉄道での事故は大変危険で多くの乗客の生命にかかわる重大事故となる場合が少なくありません。また踏切でのちょっとした不注意のため貴い生命をなくし、膨大な損害を被った事故の例も珍しくありません。

踏切では確実に停止して、安全を確認しましょう。踏切内でエンコしたときは、まず列車を停める手配をしてください。

地区別飲酒運転検挙者数

(S 57.3.現在伊万里警察署調べ)

地区名	1月~2月	3月	累計
伊万里	0	1	1
大坪	1	2	3
牧島	0	1	1
立花	4	3	7
大川内	3	0	3
黒川	5	0	5
波多津	1	0	1
南波多	0	1	1
大川	0	0	0
松浦	2	1	3
二里	0	0	0
東山代	1	0	1
山代	2	2	4
市外	3	3	6
計	22	14	36

線路内に立入ったり、線路近くで遊ばないように、また線路に石を置いたり、列車に物を投げないように注意しましょう。

国民はすべて、基本的人権をもっており、それは誰でも侵され、侵すことができないよう、憲法にうたってありますが、現在なお、国民の一部には、社会的、文化的に低位におかれ、市民的権利が完全に保障されていない地域があります。

このような地域に対し、経済力を高め、住民の生活安定、福祉向上をはかるため、同対策事業特別措置



3月

貿易実績は67億4,418万円で前月比57億5,215万円の増。

【輸出】 51億1,730万円

【輸入】 16億2,688万円

【船舶の入港】 16隻

(日本船3隻、外国船13隻)

【外国人上陸許可者数】

400人(フィリピン216人、中国36人、韓国23人、インドネシア50人、英国2人、ビルマ6人、マレーシア27人、インド1人、ギリシャ25人、パキスタン14人)

が得られず、差別は残念ながら依然として跡を絶たない現状です。

国においては、これまでの法律に変わるものとして、新たに「地域改善対策特別措置法」が制定され、昭和57年4月1日から施行されることになりました。

その主な改正点としては、

1. 5ヶ年間の時限立法であること。
2. 周辺地域との一体性の確保、及

同和教育シリーズNo.22

『地域改善対策特別措置法』が制定

法が、昭和44年7月10日から施行されてきましたが、その法律が、本年3月31日をもって期限が切れ、失効しました。

この13ヶ年を振り返ってみると、同和問題に関する皆さんの理解や関心は深まり、生活環境改善も整備され、ある程度の成果をあげることができました。

しかし、結婚や就職にあたって、国民の一部には同和問題に対し理解

び公正な運営に努めること。

3. 補助事業に係る補助金及び、起債の特別措置はこれまでと同じ取り扱いであること。

などとなっています。

これまで同和問題解決のため、啓蒙啓発運動や同和対策事業を行ない、同和教育推進に市民の皆さんの理解と協力を得ましたが、今後も一層のご協力をお願いしたいと思います。

(同和対策課)

※6月1日は商業統計調査の実施の日です。

松浦線の利用者に助成金

5人以上のグループが対象

国鉄松浦線等存続期成会では4月19日の代表者会議で、松浦線全線と筑肥線(伊万里・山本間)の団体利用者に助成金を交付することを決定しました。

これは国鉄松浦線の乗車運動を盛り上げるために行われるもので、伊万里、有田、西有田に居住する各種団体やグループへ運賃の半額を助成するものです。利用を予定される方は、事前に存続期成会事務局(市商工観光課 ☎③2111 内線356)までご連絡ください。

市内の同級生のグループ辰己

会では、18日の日曜腰岳への家族遠足を計画し、伊万里駅から金武駅まで、松浦線存続のたすきをかけ、大人18人、子供30人が参加して第一回の適用を受けました。



▲伊万里駅に勢ぞろいした辰己会員

5月の市民会館行事

- 毎週金曜日 9:30・12:00受付
運転免許更新時講習会
- 9日(日) 11:00開演
民謡おさらい会
- 13日(木) 11:00開演
戦没者追悼式 市福祉事務所
- 16日(日) 11:00開演
日舞発表会 吉久仁会
- 25日(火) 18:00開演
ぬいぐるみ人形劇..カッパ座

親子で絵をかく 市民のつどい

お父さんや、お母さんといっしょに発展していく伊万里を絵に描いてみませんか。

市教育委員会では、城山公園、伊万里川周辺を会場として「親子で絵を描く市民のつどい」を開きます。

- ▲期 日 5月16日(日)(雨天の場合は5月23日)
- ▲集合場所 伊万里保育園広場
- ▲集合時間 午前9時30分
- ▲持ってくるもの スケッチ用具(画用紙は市で準備します)

園児に弁当箱の贈り物

伊万里市米消費拡大推進連絡協議会では、3月に市内の保育園、幼稚園の3歳児に弁当箱をプレゼントしました。

米を中心とした食生活は諸外国に比べても、その栄養のバラ

ンスが評価されてきています。

世界的に食糧資源の将来が心配されている今日、もう一度、お米を見直し、私たちの健康づくりに生かしましょう。

▼452個の弁当箱がプレゼント



特設人権相談

5月3日は、憲法記念日です。毎年憲法記念日を中心とする5月1日から7日までの1週間を憲法週間として各種の行事が行われます。

伊万里人権擁護委員協議会と法務局では次のとおり特設人権相談所を開設します。

- ▲日 時 5月6日(木)10時~15時
- ▲場 所 市役所市民相談室
- ▲担 当 池田一郎、原口トミ氏

国税専門官募集

国税専門官(大学卒業程度)の採用試験が行われます。

- ▲受験資格 昭和30年4月2日から36年4月1日生まれのもの
- ▲願書受付 5月14日~5月21日
- ▲一次試験 7月10日・11日
- ▲申込み先 福岡国税局、人事院九州事務局、税務署(☎③3147)へ願書を請求してください。

ビルマ方面戦没者 慰霊法要団報告会

ビルマで戦死した旧日本兵の英霊をなぐさめるため、戦没者慰霊法要団は、ビルマを訪れ日・緬合同慰霊法要を行って帰国しました。その報告会が次のとおり行われます。

- ▲日 時 5月14日(金)13時~16時
- ▲場 所 二里町福母 広厳寺
- ▲内 容 スライド、8ミリ映画他

日本脳炎の予防接種

3歳から就学前の幼児

日本脳炎の予防接種を下表の日程で行います。

接種希望者は、からだの状態がよい時、もよりの医療機関で接種してください。

▲対象 満3歳～就学前の幼児

▲料金 無料

▲接種方法

・初回 初めて接種する人は7日～14日の間隔で2回接種

・追加 昨年接種した人は1回

※接種日の5日前までに医療機関に申込書、承諾書を提出し、保護者同伴で接種を受けること。

春の市民大清掃運動

5月10日～20日

清潔で住みよい環境をめざして「春の市民大清掃運動」が始まります。みんなで協力し合って美しい伊万里にしましょう。



市民大清掃日は5月16日(日)

道路や公民館、公園、神社など公共施設の清掃は5月16日に行ってください。

また、事業所や学校、家庭においても、清掃期間中、ふだん掃除のしにくい箇所を中心に清掃しましょう。

◇清掃後の後始末◇

・ゴミは可燃物・不燃物に分け

ふだんしないところまでいねいに

指定日時に搬出してください。

・側溝のドブや粗大ゴミの処理については区長さんが市にご連絡ください。

・月1回の不燃物収集地区の粗大ゴミは26日以後収集します。

お問い合わせは市環境衛生課(☎③2111、内線284・289)へ。

日本脳炎予防接種日程

町名	医療機関名	1回目 月・日	2回目 月・日	時 間	町名	医療機関名	1回目 月・日	2回目 月・日	時 間
伊万里	一番ヶ瀬耳鼻咽喉科	6/9	6/17	13:30～15:00	波多津	小島医院	6/8	6/17	13:30～14:30
	今里医院	5/18	5/27	13:30～15:00	南波多	小島医院	6/8	6/17	14:30～15:30
	伊万里保養院	5/18	5/27	10:00～11:00		助広医院	5/18	5/27	14:00～15:00
	岡村医院	5/18	5/27	13:00～15:00	大川	平山医院	6/3	6/15	13:00～14:00
	加茂医院	6/8	6/17	10:00～12:00		山口医院	5/18	5/27	15:00～16:00
	加茂皮膚科	6/8	6/17	14:00～15:00	松浦	近藤医院	6/8	6/17	13:00～14:00
	梶山整形外科	6/8	6/17	14:00～15:00		日浦医院	5/18	5/27	14:00～15:00
	木本耳鼻咽喉科	6/8	6/17	9:00～12:00		福岡医院	5/18	5/27	15:30～17:00
	口石病院	5/18	5/27	16:00～17:00	二里	井手医院	6/1	6/10	13:00～14:00
	桑原産婦人科	5/18	5/27	13:00～14:00		太田整形外科病院	5/18	5/27	14:00～15:00
	小島眼科	6/8	6/17	14:00～15:00		市民病院	5/18	5/27	14:00 受付
	鈴山耳鼻咽喉科	6/8	6/17	11:00～12:00		毛利医院	6/8	6/17	14:00～15:00
	隅田病院	6/8	6/17	9:00～17:00		山元外科病院	5/18	5/27	13:00～14:00
	夏秋医院	6/8	6/17	13:00～14:00	東山代	内山産婦人科	5/18	5/27	13:00～15:00
	浜田産婦人科	5/18	5/27	16:30～17:30		立石医院	6/8	6/17	11:00～12:00
	林産婦人科	5/18	5/27	15:00～16:00		滝野診療所	5/18	5/27	10:00～11:00
	原皮膚科	5/18	5/27	14:00～15:00	山代	黒木医院	6/8	6/17	10:00～12:00
	堀田病院	6/8	6/17	10:00～12:00		社会保険浦の崎病院	5/18	5/27	15:00～16:00
	前田病院	6/8	6/17	13:30～15:30		西田病院	6/8	6/17	14:00～15:00
	日高医院	6/8	6/17	10:00～14:00		博仁会医院	6/8	6/17	13:30～15:00
山口病院	5/18	5/27	14:00～16:00		樋口医院	5/18	5/27	11:00～12:00	
山口皮膚科	6/8	6/17	14:00～15:00		水上医院	6/8	6/17	11:00～12:00	
黒川	小島病院	5/20	6/1	13:30～14:30		池田医院	5/18	5/27	11:00～12:00

※料金改正：5月から婦人検診(胃ガン750円・子宮ガン500円)になります。

家庭奉仕員 ヘルパーさん を募集

市社会福祉協議会では、1人暮らしのお年寄りや障害者の方の身の回りをお世話する、家庭奉仕員を募集します。

- ▲採用人員 1名
- ▲資格 昭和12年7月2日から27年7月1日までに生まれた女性で市内に居住し高卒程度の学歴を有する者。
- ▲募集期間 5月10日～5月25日
- ▲応募方法 市役所内の市社会福祉協議会へ履歴書(写真添付)を1通提出。
- ▲試験内容 作文、面接。詳細については、市社会福祉協議会へ(☎③ 2111内線264)。

防火管理者資格取得講習会

消防本部では、消防法で定める防火管理者の資格を取得するための講習会を行います。

▲日時 5月19日(水)20日の2日間、9時から16時30分まで

▲場所 消防本部研修室

▲受講料 500円(講習日納入)

▲受講申込 希望者は、5月6日から5月15日までに消防本部予防課まで。(☎③ 4311)

自動車税は 5月31日までに

自動車をお持ちの皆さん、今月は自動車税を納める月です。5月10日ごろ納税通知書が郵送されます。早目に納めましょう。口座振替制度も利用できます。車をかえたとき、または、住所が変わったときなどは手続きをすみやかにいたしましょう。

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

- ◆香典返しを寄付
- ・金松多美枝(亡夫五市 東山代町福住)
- ・近藤嗣雄(亡妻須磨子 大川町駒鳴)
- ・多久島隆(亡母シズヨ 山代町浦の崎)
- ・山口晴興(亡妻美寿枝 山代町楠久)
- ・浦山 毅(亡母コト 東山代町滝川内)
- ・吉原誠二郎(亡母キヨ 上土井町)
- ・村上 豊(亡父郡一 二里町川東)
- ・山口啓雄(亡父勝二 山代町久原二区)
- ・牧瀬的史(亡父仙之助 木須町木須東)

- ・藤トミエ(亡夫五藤 二里町川東)
- ・大野繁夫(亡父幸四郎 松浦町中通)
- ・山口博幸(亡父十一 東山代町天神)
- ・有田正行(亡母セツヨ 立花町富士)
- ・真木多喜夫(亡妻敏二 東山代町東大久保)
- ・多久島四郎(亡妻ます 山代町川南)
- ・久保田学(亡妻禎子 脇田町脇田)
- ・原口福男(亡父藤市 松浦町上原)
- ・川崎照巳(亡父寅雄 松浦町上分)
- ・小林シズエ(亡母イエ 大川町立川)
- ・古田正明(亡母ソコ 大川内町正力坊)
- ・武藤弘雄(亡父藤四郎 立花町東門)
- ・池田ヤエノ(亡夫保雄 二里町川東)
- ・渡辺タチ子(亡夫實波 津町馬蛤湯)
- ・野口輝次(亡母キミ 大川内町市村)
- ・岩崎ハツヨ(亡夫常一 大川内町福野)

◆篤志寄付

- ・五千元 伊万里市農業協同組合
- ・三千元 大川農業協同組合
- ・二千元 南波多農業協同組合
- ・共(に)市民健康展での青空市場益金
- ・三万円 伊万里たばこ組合婦人部
- ・(供)日記念たばこ販売益金を交通遺児へ
- ・三千八百五十七円 伊万里商業高校
- ・(ク)ラス費の残金を交通遺児へ
- ・一万円 自動車学校校長 江頭春美
- ・二千二十一円 ヤマトチェーン代表 古井勝
- ・(徳)市内の交通遺児へ



ありがとう

ごさいました

- ・原 憲人(亡長男賢太郎 松浦町上原)
- ・岩橋正喜(亡母チサ 大川内町市山)
- ・前田ミチ(亡夫亀次 二里町内の馬場)
- ・古川好右エ門(亡母イト 波多津町井野尾)
- ◆大川内公民館
- ・野口武人(亡父一司 大川内町小石原)
- ・大久保幸文(亡母ゆきえ 大川内町平尾)
- ・山口すえ子(亡夫勝一 大川内町正力坊)
- ・光岡寿一(亡母トク 脇田町脇田)
- ・森トシエ(亡長男孝行 大川内町市山)
- ・古田正明(亡母ソコ 大川内町正力坊)
- ・野口輝次(亡母キミ 大川内町市村)
- ・岩崎康二(亡父常一 大川内町福野)
- ◆二里公民館
- ・山口年高(亡母スマ 二里町大里)
- ・前田 保(亡父亀次 二里町内の馬場)
- ◆南波多公民館
- ・池田正樹(亡父惣助 南波多町原屋敷)
- ・小林 強(亡父四平 南波多町大曲)
- ・前田 巧(亡母ハル 南波多町府招上)
- ◆東山代公民館
- ・古賀博子(亡夫正明 東山代町福和)

- ・一万円 緒方キヌエ(大坪町白野 亡夫尚殿の香典返しを老人福祉センターへ)
- ◆教育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付
- ・平川トミ子(亡夫政男 新天町)
- ・樋口善次郎(亡父熊次 松浦町岳坂)
- ・小林 強(亡父四平 南波多町大曲)
- ・波多川小(指定)
- ・浦方千佐子(亡夫秀人 南波多町水留)
- ・波多川小(指定)
- ◆篤志寄付
- ・五万円 百武千鶴子(東山代町天神 退職記念)
- ・五万円 中尾良人(山代町久原 山代東小学校へ指定)
- ・十万円 伊万里ライオンズクラブ
- ・(大川内山焼き物教室用窯設置へ助成)
- ◆体育振興奨励基金へ
- ◆篤志寄付
- ・一万円 中島紘一(新天町)
- ◆青少年育成基金へ
- ・織田キヌエ(亡夫尚 大坪町白野)
- ・明るいまちづくり推進資金へ

こどものページ

ぼくらの船で訓練だ！

海洋少年団の教室にもと巡視艇

君たちは巡視艇に乗ったことがありますか。

昨年2月まで、唐津海上保安部で活躍していた巡視艇『しまゆき』が退役し、伊万里海洋少年団（山元七次団長、団員22名）に訓練場として払下げられました。そこで新しく海の教室として生まれかわり、11日に係留先の伊万里湾の釘島海岸で盛大に開校式が開かれました。

『しまゆき』は64.5トン、長さ21㍍、幅5㍍の巡視艇でこれまで18万キロ㍍、地球を4回半まわった距離を航海しています。

新しく改造された船体は、エンジンやスクルーこそありませんが、グレイのペンキで塗り直され、機関室を研修室にかえ操舵室や海図室、乗員室はそのまま残され、舵やコンパスなどがあり、子供たちの探求心を大

いに満足させています。

伊万里海洋少年団は、54年10月に結成、小学4年から中学2年まで22人の団員が、毎月2回基礎訓練や手旗信号の練習に励んできました。今回は陸上と違って初めての海上訓練に子供たちは皆、大喜び、しまゆきの上で元気ばい手旗信号を披露し

ました。

そこで子供たちに一言。

黒川小6年横井君

「かっこいいなあ、ほんものは」

伊万里中1年松尾君

「ちょっと緊張したけど、海上は気持ちんよか…」

山元団長も「やっと念願がなかった、今後はカッターなどを持ち海上の訓練もと考えてます」と夢を広げておられました。

海に学び、海にきたえる海洋少年団から伊万里湾に響く明るい笑顔に心身ともに健康でたくましい子供たちが育っていることを感じました。



◀『しまゆき』の上で手旗をふる海洋少年団員

大好きなおじいちゃん

大坪小三年 楠田 えりか

わたしのおじいちゃんの顔は、まゆが太くて、少しこわそうな顔ですが、やさしいです。

若いときは、村一番の力持ちだったそうです。はだかになると、きんにくがもりもりしていて、お父さんもかないません。

ついこの間、バトミントンをしました。とてもじょうずで、70才には見えません。

おじいちゃんは、プロレスが

ある日を楽しみにしています。見ているとき自分もその気になって、手をうごかしていました。そんなおじいちゃんの後ろすがたが子供みたいで、とてもゆかいです。おばあちゃんとは、仲よく畑の仕事をしています。

私は、おじいちゃんにいつまでも長生きしてほしいと思います。だって私にとってたった一人のおじいちゃんだから。



▲松浦町の原口勝次さん（69歳）